

プレスリリース

概要

2016 年度 glasstec: ガラス – 未来の素材

2016 年 9 月 20 日から 23 日までデュッセルドルフは再びガラス業界の国際的なミーティングポイントとなる。glasstec 2016 はあらゆるイノベーション、トレンド、ソリューションを複合的に示す。同時に現場と研究分野の専門家が集う併催プログラムも開催する。メッセデュッセルドルフ見本市のヨアヒム・シェーファー代表取締役は、「glasstec はガラス業界の世界トップ見本市である。今年も未来の素材であるガラスが建築、製造技術あるいは自動車産業など、産業界や生活の場において益々重要な役割を担うことが示される。ガラスとイノベーションは切っても切れない関係にある」と述べている。

約 1200 社が出展する glasstec はガラスのバリューチェーンをすべて網羅する。2014 年の前回の見本市では、機械製造、ガラス製造、ガラス加工、ガラス仕上げ、建築/建設、窓/ファサードおよびソーラー分野から 4 万 3000 人を超す来場者 (87 ヶ国) が視察に来た。これらの専門来場者の 63%が外国からの来場者であった。これほど高い国際性は他のどのガラス関連見本市でも達成されていない。さらに来場者の 85%が、企業の購入決定プロセスに直接関係していると答えている。

各種併催プログラムの中でも、中心となるのが「glass technology live」特別展と国際専門シンポジウムである。今年の標語は「Future – Glas – Performance」。また隣接して「ガラス+ファサード competence center」の特別展も開催。

さらにドイツ連邦ガラス工芸協会(BIV)のブースでは、「工芸センター」と「Craft LIVE」が設置され、ガラスに関する専門知識の習得や実践経験を積める。さらに、自動車用ガラス交換のコンペ(Auto Glass Champion)やアート展覧会「glass art」も開催される。

glasstec 会期中の併催会議として、構造ガラス製造に関する国際学術専門コンファレンス「engineered transparency」、最新ガラス構造をテーマとする「国際建築 kongress」、ならびに薄板ガラスの高密度生

glasstec

INTERNATIONAL TRADE FAIR FOR GLASS
PRODUCTION • PROCESSING • PRODUCTS

20 - 23 SEPTEMBER 2016
DÜSSELDORF, GERMANY

www.glasstec.de



Messe Düsseldorf GmbH
Postfach 10 10 06
40001 Düsseldorf
Messeplatz
40474 Düsseldorf
Germany

Telefon +49 (0) 2 11/45 60-01
Telefax +49 (0) 2 11/45 60-6 68
Internet www.messe-duesseldorf.de
E-Mail info@messe-duesseldorf.de


Geschäftsführung:
Werner M. Dornscheidt (Vorsitzender)
Hans Werner Reinhard
Joachim Schäfer
Bernhard Stempfle
Vorsitzender des Aufsichtsrates:
Thomas Geisel

Amtsgericht Düsseldorf HRB 63
USt-IdNr. DE 119 360 948
St.Nr. 105/5830/0663

Mitgliedschaften der
Messe Düsseldorf:

 The global
Association of the
Exhibition Industry

 Ausstellungs- und
Messe-Ausschuss der
Deutschen Wirtschaft

 FKM – Gesellschaft zur
Freiwilligen Kontrolle von
Messe- und Ausstellungszahlen

Öffentliche Verkehrsmittel:
U78, U79: Messe Ost/Stockumer Kirchstr.
Bus 722: Messe-Center Verwaltung

産プロセスをテーマとする新設のコンGRESS「function meets glass」が計画されている。

来場者は、今年も、機械製造、ガラス製造、工芸、建築・建設、窓・ファサードならびに一般製造技術とソーラー技術のどの分野であろうと、ターゲットグループに即した専門情報を包括的に取得できるプログラムとなっている。

glass technology live: 実践的最新版トレンドセッター

ホール11では「Future – Glas – Performance」を標語とし、今年も、今後3～5年の動向を視野に入れた未来型ソリューションや革新的製品を紹介する興味深い展示が行われる。この特別展「**glass technology live**」は前回に続きロンドンの設計事務所フォスター・アンド・パートナーズのシニアエグゼクティブパートナー、シュテファン・ベーリング教授とシュトゥットガルト大学・IBK2 チームによって企画される。中心テーマは、フリーフォーム・超薄型・剛性・情報型のガラス。建築家やプランナーに新しいインスピレーションを与え、ガラス製品の新しい応用事例も限無く示して行く。

また、この特別展のスペース内では国際専門シンポジウムを同時開催する。最新テーマに関する様々な講演が用意されている。見本市来場者はこの国際専門シンポジウムに無料で参加できる。国際専門シンポジウムでは、世界各国から建築、産業、学術の関係者が一堂に会し、ガラスが使用されている各種プロジェクトの事例を紹介する。特別展と同様、この国際専門シンポジウムもガラス業界の将来を展望する。会期中、毎日、シンポジウムは異なったテーマにフォーカスしてプログラムが組まれている。講演を実際に行うのは下記の諸団体である。ドイツガラス技術協会(HVG)、ドイツガラス学会(DGG：ガラス溶融・成形／火曜日)、ドイツ機械工業会(VDMA：ガラス加工と仕上げ技術・ガラス産業のインダストリー4.0／水曜日)、シュトゥットガルト大学(建築・デジタルプランニングプロセス／木曜日)、ドイツ連邦板ガラス協会(窓・ファサードガラス／金曜日)。



建物外面について全ての情報

「glass technology live」の隣には「Glass & Façade Competence Center」が設置される。ガラスとファサードに関する様々な情報がファサードプランナー、ビルエンジニアおよび建築家に向け発信される。さらにホール 9、10 および 11 でも出展者による展示が行われる。このコンピテンスセンターでは諸機関や団体が数々の情報を提供する。その中には、ドイツ連邦板ガラス協会（BF）、ift ローゼンハイム社、ドイツファサード技術独立アドバイザー協会（UBF）、アウグスブルク大学（建設・不動産研究所）、ドルトムント専門大学（建築学科）、ダルムシュタット工科大学（建設材料・メカニカルエンジニアリング）、および断熱多層ガラス品質協会などが名を連ねている。

国際建築コンGRESS：ビジョンとインスピレーション

glasstec会期中の水曜日には有名建築事務所が「建築におけるコントラストとガラス」というテーマでガラス建築における今後の展望を発表する。この国際建築コンGRESSはNRW州建築士協会（AKNW）およびシュトゥットガルト大学との協力の下、実施される。また国際建築コンGRESSは職業訓練の一環として正式に認められている（そのためコンGRESSへの参加は、NRW州建築士協会の場合は建築とインテリアデザイン教科の4セッションに相当し、NRW州エンジニアリング会議所の場合は建築教科の4単位時間に相当する）。参加費用は2日間の見本市入場料も含めて49ユーロである。



国際学術専門コンファレンス「engineered transparency」

glasstec会期中の火曜日と水曜日、CCD南にて、世界各国の研究者が構造用ガラスエンジニアリングの動向について議論をする。焦点とするテーマは、エネルギー、ファサードおよびガラスである。同会議は今年もドレスデン工科大学とダルムシュタット工科大学との協力の下、実施される。

今年最初の試みとして、国際学術専門コンファレンスでは初めて特別セッションを企画した。特別セッションの参加者はドイツガラス技術協会(HVG)、ドイツガラス学会(DGG)、構造用ガラスエンジニアリング専門団体(FKG)、およびドイツ連邦板ガラス協会（BF）である。この特別セッションは2つの講演部会から構成され、それぞれ「機能内蔵

型ガラス」と「ガラステクノロジー」に重点を置いている。さらにここで紹介されるプロジェクトや研究活動は「glass technology live」で展示される。

国際学術専門コンファレンス「**engineered transparency**」は技術・学術系コンファレンスであり、研究開発ならびに建設や施工の関係者をターゲットグループとしている。具体的には研究者、建設エンジニア、プランナー・建築家・デザイナー、建設専門家、建設当局の職員および施主が対象である。開催日は **glasstec** の開幕直後の 9 月 20 日と 21 日である。

Craft Center と Craft LIVE: インタラクティブ特別展

「工芸センター」では数々のガラス加工工芸品の展示が行われる。その中心となるのがホール9のドイツ連邦ガラス工芸協会(BIV)のブースである。またホール9では「ガラスの測定・検査」というテーマのもと、特別工芸展「**Craft LIVE**」も行われる。実演スペースと複数のスタンドを設け、プロセスチェーン全体が紹介される。ガラス加工工芸の関係者にガラス安定性を満たすための条件、プロセス、製造者責任に関して幅広い情報を提供する。また来場者は自ら工具や材料を試して、材料の貯蔵、ガラス測定、加工、仕上げ、固定、さらには振動性能について知識を習得できる。



ホール9の中央部では「**2016年の自動車用ガラスチャンピオン**」を決める自動車用ガラス交換コンペがドイツ連邦ガラス工芸協会(BIV)の主権により開催される。加えて、自動車用ガラスなどガラス加工に関する各種イベントも用意されており、精密技術や最新技術などが紹介される。

工芸センターではさらに「**glass art**」というガラス製工芸オブジェのアート展覧会が行われる。世界有数のギャラリーのアーティストがガラス製品、ガラス彫刻、さらにはガラスペインティングまで幅広く展示する。

またドイツ連邦ガラス工芸協会(BIV)は**glasstec**会期中の木曜日に、「ガラス仕上げ職人賞」と「ガラス職人アワード」を各部門で最も成功しているドイツ企業に授与する。

Function Meets Glass : 未来は薄板ガラスに

高精度に製造・加工された薄板ガラスはディスプレイガラス、タッチガラス、スマートガラスおよびソーラーガラスにとって不可欠な存在である。2016年9月19日および20日には、如何に薄板ガラスの最高品質を確保しつつ、短時間に大量生産するかに焦点を当てて、「Function Meets Glass」コンファレンスを行う。また特殊手法と技術で生産・加工された高機能ガラスの応用例についても紹介がされる。加えて、学术界と産業界から著名人が集まり、講演と国際レベルのディスカッションが行われる。このコンファレンスはドイツ機械工業連盟（VDMA）ガラス技術フォーラム、ドイツ機械工業連盟（VDMA）太陽光発電機械製造研究会および東バイエルン技術移転研究所(OTTI)の協力の下、実施される。

情報をキャッチして準備万端 — Industry Guide と Trend

Compass

glasstec の幅広い展示を簡単に一覧できるよう、今年も glasstec のホームページ (www.glasstec.de.) では分野毎に概要をまとめている。まず「**Industry Guide**」では分野毎に、出展者のデータ、数字、展示品ならびに併催プログラムを整理している。主要な分野は、「機械・装置技術」、「製造、加工、仕上げ」、「工芸」、「建築・建設」、「窓・ファサード」および「ソーラー」である。



また「**Trend Compass**」では、ワンクリックするだけで、技術革新的な製品やサービスに関する最新情報を得ることができる。ゆえに、来場者は下記のトレンドカテゴリー別のイノベーション情報を活用して、glasstec の視察に向け万端の準備を整えられる。

- ガラス製造におけるコストと排出の削減
- ガラス産業におけるインダストリー4.0 – 製品とプロセスのスマートなインテグレーション
- 薄板ガラスの製造・加工における新技術
- 機能ガラス（建物外装、ディスプレイ、スマートガラス、インテリア、自動車用）
- 軽量・高剛性の中空ガラスおよび包装用ガラス
- 手工芸分野での技術革新的な応用

glasstec に関する重要な基本情報はホームページ内の「出展企業・製品」内の出展企業データベース、あるいは補足サービスプログラムの中に全て記載されている。これを基に来場者は準備万端を整えてから bglasstec を視察できる仕組みづくりをしている。

見本市の準備を簡単に

上記の情報の他に、ホテルやアクセス情報、カスタマイズ可能なホールプラン、あるいはデュッセルドルフ市内見学のアドバイスなども発信している。さらに、ホームページ (www.glasstec.de) ではお得な前売り入場券を事前に購入することが可能だ。この e チケットの価格は 1 日券が 33 ユーロ (窓口で購入する場合は 46 ユーロ)、2 日券が 50 ユーロ (窓口で購入する場合は 66 ユーロ)、4 日券が 78 ユーロ (窓口で購入する場合は 96 ユーロ) である。さらにどの e チケットであっても、バスおよび鉄道 など公共交通機関(VRR: 2 等、特急料金を必要としない鉄道のみ)を利用して会場まで無料で移動できる。モバイル端末からのアクセスには、レスポンスデザイン Web サイト、また iOS やアンドロイドアプリの利用も用意している。

glasstec 2016 の広報担当

Daniel Krauß(ダニエル・クラウス)/

Brigitte Küppers(ブリギッテ・キュパーズ)

Tel.: +49(0)211/4560-598 oder -929

Fax: +49(0)211/4560-87 598

E-Mail: KraussD@messe-duesseldorf.de あるいは

KueppersB@messe-duesseldorf.de

日本国内連絡先 :

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当 A.ユング

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ・ガーデンコート 7F

T: 03-5210-9951

F: 03-5210-9959

jung@messe-dus.co.jp

<https://glasstec.messe-dus.co.jp>

